（別紙）

２０２５年度（令和７年度）幼稚園評価自己評価表

最終更新日	２０２５年（令和７年）４月２４日

園番 ２０	福山市立　あけぼの　幼稚園

１　幼稚園教育目標

明るくたくましく、心豊かに友だちとともに伸びゆく子どもを育てる

２　目指す自園の幼稚園像（ビジョン）

〇やさしさあふれるあけぼの幼稚園
　～小学校以降の生活や学習の基盤としての「生きる力」の基礎を育成する～
・友だちと元気に遊び、つながりの大切さを学ぶ子ども
・幼児の学びを支え、小学校への基礎・基本となる力を育てる教師
・たがいのよさを生かし高め合い、地域・幼稚園と協力して子育てをする保護者
・豊かな感動体験、健やかな成長につながる教育環境

３　目指す幼児像

あ　あかるく
け　元気に
ぼ　ほのぼのやさしく
の　のびる子ども

４　自園の現状分析（地域環境・園の環境・幼児観・保護者、地域との連携協力・現状課題など）

４歳児では、初めて集団生活を経験するこどもがほとんどで、母親と離れる事に不安感をもち、気持ちが不安定になるこどももいる。身辺自立には個人差があり、時間はかかっても自分なりにしようとする子もいれば、自らしようとしないで大人任せになりがちのこどももいる。戸外で遊ぶことが好きで、遊び始めると、自分の好きな遊びを見つけてじっくり遊ぶ姿があるなど、友だちの姿を見ながら真似たり、やってみようとしたりする姿が見られるなど集団の中で育つ様子も見られる。５歳児はほとんどが進級児で、気の合う友だちと誘い合って遊ぶ姿がある。自分の思いを表現しにくく、関わりきれなかったり、こだわりから思うようにならないことで奇声を発して遊びに入りきれなかったりするこどももいる。

少子化・核家族化などの社会状況の変化や遊びの変化（家庭での遊びは携帯ゲームや動画を見る）により、特定の人とのかかわりが主で、様々な人とかかわりながら遊ぶ機会も少なくなっている。コミュニケーションについては、大人と個別で関わることはできても子ども同士の関わりが苦手だったり、遊びが続きにくかったりするなどの実態がある。また、思い切り体を動かして遊ぶ体験や感動する実体験が少なく、遊びが始められずに戸惑っている子どももいる。

保護者は、幼稚園教育に対して理解があり協力的である。なかには、我が子にどのように関わったらよいか、子育ての不安や悩みをもたれている方もいる。

地域の人々の繋がりは強く、幼稚園の子どもにやさしく声をかけてくださり、活動にも温かい地域支援が得られ、人の優しさや温かさを感じながらかかわることが出来ている。

このような状況から、園児には二年間の教育課程を通して、発達に即した生活の自立、意欲的に取り組みやり遂げようとする態度、ルールを守って生活したりする社会性、コミュニケーション力などが育つように取り組んでいくことが必要であると考え教育目標を設定した。

５　今年度の重点目標と設定理由（ビジョン実現のために）

重　点　目　標	設　定　理　由
〇　主体的に遊ぶ子どもを育てるための保育室・園庭の環境設定 〇　五感を通して体感・経験させる。（資質・能力の育成）身体つくり 〇　「ことばでの表現、伝えあい」「相手の気持ちの受容」を育む視点	・幼児が自ら興味関心をもってかかわり、「おもしろい」「不思議だな」と感じるなど心動かす体験をすることで探究心が育ち、主体的に活動するようになってほしいため。 ・自分の感じたこと、思ったことを自ら伝えたり、相手の話を聞こうとする気持ちを育て、社会性、コミュニケーション力を育てたりしていきたいため。

（別紙）

６　目標・方策・評価

	３年間の目標	１年間の目標	具体的な方策	評価	評価結果 ○＝反省や課題　◎＝改善のための方策
生きる力の基礎	自立心を育て、人と関わる力を育てる	○必要な時に人に助けを求めることができる。（８０％以上）	○一人ひとりの発達段階に応じて待ったり声をかけたりする。 ○言葉だけでなくその子なりの表現で伝えている姿を認めていく。		
	体験したことや考えを自分なりに表現したり、聞いたりする力を育てる。	○年長：自分の考えを自分なりに相手に伝わるように話す。（８０％以上） ○年少：聞かれたことに対して、自分なりに伝える。（８０％以上）	○年長児は、人前で話す機会や小グループでの活動を意図的に取り入れる。 ○年少児は、同年齢のペアで活動することを意図的に取り入れる。		
		○絵本や紙芝居に興味をもって聞く。 （９０％以上）	○絵本や紙芝居などは、季節や幼児の興味や発達段階を考慮して選定する。 ○自ら絵本に親しむことができるよう絵本コーナーなど実態にあわせて環境を用意する。		
	さまざまな動きを楽しむしなやかな体づくりをする。	○運動遊びが好きになる。 （保護者アンケート９０％以上）	○発達に応じた活動（運動あそび）を年間計画を基に実施する。 ○わくわくタイムの充実 ○毎月のねらいをもとに室内外で自ら体を動かして遊ぶ事の出来る環境を工夫する。		
	食生活を通して食事や自分の体に関心をもつ。	○バランスよく食べることができる。 （８５％以上）	○農園活動を季節ごとに行い、学期に１回以上栽培物を調理する。 ○食育活動を学年ごと行い保護者啓発する。		
教師の役割	一人一人の幼児の特性を理解し、発達段階に応じて個に対応した教育を行うとともに、小学校への円滑な接続を図る	○幼児理解研修を行い、一人ひとりの特性を把握し、指導にあたる	○年間計画を基に園内研修を計画的に行う。 ○職員会議などで気づきを積極的に発言したり、助言を求めたりする。		
信頼される幼稚園	保護者との信頼関係を築き、お互いの役割を果たしながら、親と子がともに育つ幼稚園を目指す	○安全な教育を持続させる	○毎月１日を安全点検日にして点検を行い、環境を整える。		
		○保護者アンケートで「先生は子どもの成長を評価し伸ばしてくれている」「幼稚園の先生に子どものことについて気軽に話ができる」の肯定的評価を８０％以上にする。	○幼稚園だより・園長だより・クラスだより・HP を月１回以上発行・更新する。 ○ウェルキッズでタイムリーに活動の様子を知らせていく。 ○子どもの育ちが伝わる内容にする。		
		○保護者、地域の人と共に子育ての楽しさを共有できるよう工夫する	○未就園児の会を計画的に実施し、遊びの場の提供と子育て相談を行う。		

【評価】Ａ－達成した　Ｂ－ほぼ達成する　Ｃ－じゅうぶん達成していない　Ｄ－達成していない　【生きる力の基礎】－　健康・人間関係・環境・言葉・表現

【教師の役割】 計画的な環境構成・活動場面における教師の役割・人材育成【信頼される幼稚園】 情報提供・他の公共機関との連携・幼児と地域住民との人間関係づくり・教育相談